



高島幼稚園だより

令和 7 年 3 月号

板橋区立高島幼稚園

板橋区高島平 2-1 8-1

TEL 03-3934-5848

園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50 周年
キャラクター
「たんたん」



子どもたちの学びと交流

園長 井上 朋子

先日の子ども会では、どの学年の子どもたちも一人一人が輝いていました。「自分を表す」ことから始まって、歌、楽器、絵画製作、動きや言葉で伝えることなど、子どもの感性や想像性が生かされるように、先生方が考えて進めていたからです。協働して創り上げた経験は、目に見えない豊かさにつながり、子どもたちの心に響いています。

保護者の皆様にもご協力いただきまして、感謝しています。子どもたちが披露した後に、すぐに保護者の皆様から褒めていただいたことは、親子のとても幸せな時間となっていました。表現したことを認めてもらえることは、子どもたちにとって、とても大切なことであり、次への意欲を引き出すことにつながっていきます。

現在は、こども会後の活動へと発展しています。自分たちが経験したことを他の学年にも伝える取り組みです。相手に教えたり教えられたりすることで、様々な立場を経験し、こども会後の活動が充実しています。子どもたちを成長させてくれる様々な取り組みが続き、締めくくりの3月は、さらに成長した姿を見せてくれることでしょう。

他にも学年間で交流しながらやり方を伝授している活動があります。進級に向けて、年長児が行っている清掃活動「ピカピカタイム」を年中児に教えているのです。自分たちが日頃行っていることなので、教え方も上手です。どうやったら年中児に分かるのかやって見せたり、言葉で伝えたりしています。教師が教えるのではなく、子どもたち同士で教え合うのですから、教える方も真剣ですし、教えてもらう方も一生懸命です。子どもたち同士だからこそ、学びやすく伝わりやすいところもあり、今までの交流の経験の土台の上に成り立っています。

あこがれの次の学年へ気持ちを馳せる時期。子どもたちにとって、より質の高い学びを得られるように活動を重ねています。



園庭のサクラの木

大きく育った園庭のサクラの木。樹齢が長くなっているため、学務課で予算を計上していただき、今年度はサクラの木を樹木医の先生に診ていただきました。危惧した通り、園庭の鉄棒の後ろにある大きな桜の木1本が空洞率 77.6%であることが分かり、令和7年度に伐採予定となりました。

振り返ってみれば、サクラの木は、春は淡いピンク色の美しい花をつけて喜ばせ、暑い時は日差しを作ってみんなを守り、秋は葉が赤や黄色になって落ち葉で遊ぶことを楽しませてくれました。サクラの木が1本でも無くなってしまうのは寂しいですが、危険な状況を継続する訳にはいかないので、今年の春のサクラで見納めとなります。この春は、感謝の気持ちを込めて、美しいサクラをしっかりと目に焼き付けたいものです。